

令和5年度（2023年度）経済環境常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和5年（2023年）7月26日（水）
- 2 視察者 経済環境常任委員会（7名）
吉田孝平（委員長）、池永幸生（副委員長）、吉永和世、池田和貴、内野幸喜、前田憲秀、岩田智子

3 視察の概要

（1）アーティストビレッジ阿蘇096区（高森町）

アーティストビレッジ阿蘇096区は、株式会社コアミックスが、高森町の旧高森温泉館を改修して、漫画家や劇団「096K歌劇団」員などの「クリエイター」「アーティスト」の移住・活動拠点として運営している。

今回の視察では、096区の事業内容について説明を受けるとともに、劇団の稽古場、漫画家の制作室等の施設設備を見学した。

コアミックスから、劇団員は地域おこし協力隊としても活動していること、歌劇団は本年7月にフランスのパリで開催された「ジャパンエキスポ」で公演を行い、好評を博し、本年9月には新たな活動拠点として熊本市の大劇会館7階に「096K座」ができるとの説明があった。



（2）南阿蘇鉄道高森駅（高森町）

南阿蘇鉄道は、熊本地震で甚大な被害を受けたが、その後、復旧が進み、本年7月15日に全線運転が再開した。

『ONE PIECE 熊本復興プロジェクト』によるコラボ列車を運行し、復興を遂げた姿を国内外にPRするとともに、同列車を核とした周辺観光施策を併せて実施し、誘客促進や地域活性化につなげることを目指している。

今回の視察では、南阿蘇鉄道の取組の説明を受けるとともに、南阿蘇鉄道高森駅でコラボ列車を見学した。

南阿蘇鉄道から、コラボ列車「サニー号トレイン」は、細部まで作りこまれ、原作の世界観を忠実に再現しており、原作のファンだけでなく、広



く人気を集め、観光の振興、鉄道の収益につながるものと期待しているとの説明があった。

(3) 株式会社堀場エステック阿蘇工場（西原村）

堀場エステックは、京都を本拠とし、半導体の製造プロセスに必要な不可欠な機器、マスフローコントローラ生産の世界シェア60%を占める会社である。

阿蘇工場は、京都工場と並ぶ基幹工場で、1988年9月に操業開始、2017年12月に第5期棟の工事が完了している。

今回の視察では、阿蘇工場の生産工程、今後の取組について説明を受けるとともに、工場内の施設設備を見学した。

堀場エステックから、阿蘇工場は、国内生産の70%を占めている。2016年4月の熊本地震で、工場の第1期棟、第2期棟が倒壊したが、第3～第5期棟で、医用製品と半導体関連製品を生産している。半導体の製造プロセス（前工程）に使用される半導体製造装置に搭載されるマスフローコントローラは年間50万台を生産しているとの説明があった。



(4) セミコンテクノパーク及びTSMC（菊陽町）

菊陽町・合志市にまたがる当該エリアは、セミコンテクノパークと呼ばれ、半導体製造関連の企業が多く集まる半導体関連の一大集積地であり、台湾積体回路製造（TSMC）が、日本工場を建設中である。

今回の視察では、セミコンテクノパークの概要について説明を受け、工場建設の進捗状況を車窓から見学した。

執行部から、TSMC進出以降、周辺地区で、半導体関連企業の設備投資や立地協定が相次ぎ、新たな工業団地の整備が進んでいるとの説明があった。

